第 45 回　奏楽を学ぶ会のご案内　　主催：神港教会音楽委員会

ご無沙汰しております。残暑厳しい中、お変わりなくお過ごしでしょうか。
　7 月の例会では、緋田芳江先生のご指導によりドイツ語で二つのコラールとそれに基づく合唱曲を数曲歌いました。まことに喜ばしい 2 時間でした。ご参加くださいました方々、とりわけ通奏低音を担当してくださいました方々、本当にありがとうございました。
　次回は大岩みどり先生を講師としてお迎えして以下のように行ないます。
　お越しを心よりお待ち申し上げております。

＜第 45 回＞

日時：2016 年 9 月 20 日（火）午前 10 時半～12 時半
場所：神港教会
講師：大岩みどり先生（音楽学、文学博士）
内容：フレスコバルディのカプリッチョと、その旋律を用いての即興の試み
参加費：1000 円（講師謝礼ほか）

＊ご参加くださいます方は、9 月 18 日までにお知らせください。
＊当日、楽譜は配布いたしません。本日の添付を各自印刷してご持参ください。
＊『カプリッチョ集』の楽曲の演奏、また、カプリッチョ 9 番あるいは 12 番の旋律を用いて即興演奏をしてくださる方を募ります。9 月 11 日までにお申し出ください。何卒よろしくお願いいたします。
＊『カプリッチョ集』の楽曲の配列は版によって差違がございます。

～大岩先生より～ （ご連絡いただいたメールからの抜粋）

まずフレスコバルディ「カプリッチョ集」についてお話しした後、カプリッチョのテーマを使って、即興演奏に挑戦してみたいと思います。
私自身、お教えできるような力も経験もありませんので、ご一緒に、とにかく始めてみる（フレスコバルディが少年時代にルッツァスキ先生のもとで行ったであろう勉強を追体験してみる）機会になれば…と思います。

そのための課題を二つ作りました。即興演奏の練習ですが、最初は楽譜に書く方がいいそうです（というより、楽譜に書かないと無理なように思います）

一つはカプリッチョ 12 のテーマ「ルッジェーロ」をバスとして、Ballo を作る課題、もう一つはカプリッチョ 9 の「第 5 声部」を用いて、メールロ風のトッカータを作る課題です。

トッカータの作り方は、まず定旋律をソプラノにして、4 声体を作り、その和声の枠組みを用いて自由に音階的パッセージを展開する。メールロのトッカータは、詩編唱定型を「隠れた定旋律」として、この方法で作られたと推測されています。

参加される方から（1）、（2）の方々を募ります。
(1) カプリッチョ集の中から 1 曲演奏してくださる方
(2) 課題の Ballo または Toccata を演奏してくださる方（途中まででもかまいません）
(2)に関しては、本当は全員にお願いしたいのですが…

補足
・《カプリッチョ集》の楽譜について
4 声部スコアと鍵盤譜が併記された Suvini Zerboni 版が最善ですが、ベーレンライター版でも悪くはありません。鍵盤譜の「弾きやすさ」（内声をどちらの手で弾くか）という点では、私個人としては、ベーレンライター版の方が弾きやすいような気がします。
・楽曲分析について
12「ルッジェーロ」の対位法は見事です。私は色鉛筆を使って分析するのですが、それを眺めるだけで楽しくなります。　（以上、大岩先生のメールより）

＜今後の予定　～例会、レッスン～＞

10 月の例会は未定（椎名雄一郎先生のレッスンが 10 月 29 日演奏会後にあります）、11 月の例会は休会（11 月 23 日に改革派の教会音楽講習会が行われるので、それに合流します）です。
　椎名先生のレッスンついては追って詳細をご連絡します。
　教会音楽講習会の鈴木優人先生のレッスンには、すでに数名お申し込みいただいていますが、ご希望の方は早めにご連絡下さい。

神港教会 教会音楽委員会
奏楽を学ぶ会担当 平田真理
お問い合わせ先：hge10301@hcc6.bai.ne.jp